

令和3年度自然科学研究機構基礎生物学研究所「メダカ」バイオリソース
運営委員会（第1回）議事次第

日時 : 令和3年12月22日（水）13時00分～15時14分
場所 : 各自の研究室等(zoomによるweb会議)
委員 : 木下[委員長]（京都大学）、成瀬[副委員長]（基礎生物学研究所）、
松田（宇都宮大学）、岡本（理化学研究所）、高田（基礎生物学研究所）、東島（基礎生物学研究所）、亀井（基礎生物学研究所）、井口（横浜市立大学）、田中（名古屋大学）、竹内（東北大学）、荻野（広島大学）、尾田（東京大学）、川本（国立遺伝学研究所）、出口（産業技術総合研究所）、竹花（長浜バイオ大学）、荻野（九州大学）
オブザーバー : 寺井（新潟大学）、大久保（東京大学）、山平（琉球大学）、渡辺（基礎生物学研究所）、村田（カリフォルニア大デービス校）、安齋（東北大学）、工樂（国立遺伝学研究所）
事業参加者 : 橋口（宮崎大学）、岩波（宇都宮大学）、四宮（基礎生物学研究所）
陪席者 : 阿形（基礎生物学研究所）、高祖（(NBRP)広報室）、廣岡（岡崎統合事務センター）、浅井（岡崎統合事務センター）、桑（岡崎統合事務センター）、増本（岡崎統合事務センター）、金子（基礎生物学研究所）、鈴木（基礎生物学研究所）

1. 運営委員会委員長挨拶

議事に先立ち、木下委員長から挨拶があった。

2. 報告事項

(1) 第4期NBRP令和3年度活動報告

①中核機関（基礎生物学研究所）について

成瀬委員から、資料1-1～1-4に基づき、基礎生物学研究所における令和3年度活動実績（収集・保存・提供、評価委員会との質疑、予算執行状況及び第4期の成果報告取りまとめ等）について報告があった。

②分担機関（宇都宮大学）について

松田委員から、資料2に基づき、宇都宮大学における令和3年度活動実績（提供状況、飼育場所の整備状況、予算執行状況及び実施体制等）について報告があった。

③分担機関（宮崎大学）について

橋口宮崎大学准教授から、資料3及び席上配付資料に基づき、宮崎大学における令和3年度活動実績（クローンのバックアップ状況、保管状況、新型コロナウイルス感染拡大の影響による実習の中止及び予算執行状況等）について報告があった。

④第4期事後評価結果報告

成瀬委員から、資料4に基づき、ナショナルバイオリソース事業第4期課題の事後評価結果及び課題評価委員からの意見等について報告があった後、種々意見交換を行った。

3. 審議事項

(1) 東京大学大学院新領域創成科学研究科からの野生メダカ受け入れについて

尾田委員から、席上配付資料に基づき、東京大学柏キャンパスで系統維持しているメダカ自然集団コレクションについて、予算上の問題、異常気象の影響、維

持管理者の後継者が未定であること、等の事由により、将来的に系統維持が困難となる可能性がある旨の説明があった後、当該メダカ自然集団コレクションを NBRP メダカ（中核的拠点整備プログラム）へ寄託することの可否について、審議願いたいとの提案があった。次いで、同委員から、寄託にあたっては、特に学術的価値が高い系統だけを受入対象とすることも差し支えない旨の補足説明があった。

引き続き、種々意見交換を行った上で審議を行った結果、今後、成瀬委員、松田委員及び尾田委員との間で NBRP メダカ（中核的拠点整備プログラム）として受け入れるべき系統や保存方法等について精査し、受入対象として適当と判断された系統・保存方法については寄託を受け入れることを承認した。なお、受入後は本運営委員会へ報告を求めることとした。

(2) 第 5 期 NBRP 事業計画について

成瀬委員から、第 5 期 NBRP 事業の公募状況について説明があった後、資料 5 に基づき、応募予定である第 5 期 NBRP メダカ（中核的拠点整備プログラム）の実施体制等について提案があった後、第 5 期から分担機関として参画予定である国立遺伝学研究所の工樂教授から補足説明があった。

引き続き、種々意見交換を行った上で審議を行った結果、これを承認した。

なお、資料 5 に記載された各機関の役割に関する説明箇所については、適宜表現等をブラッシュアップした上で応募書類に反映させる必要があることを確認した。

また、本運営委員会終了後に引き続き有志による意見交換会を実施し、更なる議論を行うこととした。

(3) 令和 4 年度活動計画

①中核機関（基礎生物学研究所）について

成瀬委員から、資料 6 に基づき、令和 4 年度における基礎生物学研究所の活動計画（収集・保存・提供、リソースの品質確保・管理、凍結保存技術の改良、普及活動、国際生物学賞シンポジウム共催等）について提案があり、審議の結果、これを承認した。

なお、普及活動については、より多くのユーザーにメダカのリソースを利用してもらうための工夫として、各系統の特徴を説明に加えたり、動画を公開したりする等の取組みを検討することとした。

②分担機関（宇都宮大学）について

松田委員から、資料 7 に基づき、令和 4 年度における宇都宮大学の活動計画（収集・保存・提供、飼育場所の整備状況、実施体制等）について提案があり、審議の結果、これを承認した。

③分担機関（宮崎大学）について

橋口宮崎大学准教授から、資料 8 に基づき、令和 4 年度における宮崎大学の活動計画（次期課題管理者（橋口准教授）の選任、クローンのバックアップ計画、非常用電源の点検計画等）について提案があり、審議の結果、これを承認した。

(4) 基礎生物学研究所「メダカ」バイオリソース運営委員会委員（令和 4～5 年度）の候補者について

成瀬委員から、資料 9 にオブザーバー候補者の記載漏れがあったため、以下の 2 名を資料 9 に追加されたいとの申し出があった。

<追加>

- ・オブザーバー 岩波礼将（宇都宮大学・特任准教授）

- ・オブザーバー 四宮 愛（基礎生物学研究所 特任助教）

引き続き、成瀬委員から、資料9（訂正後）に基づき、令和4年度～令和5年度基礎生物学研究所「メダカ」バイオリソース運営委員会の委員候補者等の選任について提案があり、審議を行った結果、これを承認した。

4. その他

- （1）国立環境研究所が樹立した環境試験用メダカの受け入れについて
井口委員から、国立環境研究所が樹立した環境試験用メダカについて、同研究所が NBRP メダカ（中核的拠点整備プログラム）への寄託を検討しており、今後、本運営委員会に付議する可能性がある旨の情報提供があった。
- （2）阿形所長から、基礎生物学研究所における本事業の課題管理者の後任に係る検討状況について説明があった後、高田委員から補足説明があった。

以 上